



平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月9日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 エムピーエス
コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 貴士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-37-6585

四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第1四半期の業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	310	△11.3	△0	—	0	—	△2	—
27年5月期第1四半期	349	△3.8	22	511.9	25	272.0	41	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	△4.08	—	—	—
27年5月期第1四半期	69.16	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
28年5月期第1四半期	2,034	—	1,225	—	60.1	1,681.16	—	
27年5月期	2,135	—	896	—	41.9	1,481.43	—	

(参考)自己資本 28年5月期第1四半期 1,225百万円 27年5月期 896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	988	20.3	76	△17.4	78	△29.7	48	△49.5	80.53
通期	2,100	13.6	148	△14.8	170	△18.0	105	△32.2	173.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期1Q	727,500 株	27年5月期	619,500 株
28年5月期1Q	— 株	27年5月期	14,400 株
28年5月期1Q	631,708 株	27年5月期1Q	605,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づき四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外では中国経済の景気減速懸念がみられる一方、日本国内においても、地方では景気回復の実感は乏しく、消費マインドは力強さを欠く等、依然として、不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、官公庁工事を中心に受注が堅調に推移した一方で、資材価格や労務費等の建設コストの高騰が工事収益を圧迫する等、引き続き厳しい状況もみられます。

このような状況の中、当社は新たに平成27年6月に埼玉支店(埼玉県)、福山支店(広島県)、下関支店(山口県)を開設するとともに、既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第1四半期累計期間における売上高は、310,331千円(前年同期比11.3%減)となり、営業損失は456千円(前年同期は22,592千円の営業利益)、経常利益は125千円(前年同期比99.5%減)、四半期純損失は2,579千円(前年同期は41,848千円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の受注が減少したため、売上高は291,711千円(前年同期比0.05%減)、セグメント利益は35,465千円(前年同期比20.9%減)となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が減少したため、売上高は18,190千円(前年同期比68.6%減)、セグメント利益は109千円(前年同期比98.6%減)となりました。

(その他)

F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は429千円(前年同期比320.6%増)、セグメント利益は118千円(前年同期はセグメント損失39千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ101,208千円減少し、2,034,474千円となりました。これは主に、完成工事未収入金の128,231千円の減少、現金及び預金の26,279千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ430,243千円減少し、809,028千円となりました。これは主に、工事未払金の191,316千円の減少、未払法人税等の104,734千円の減少、買掛金の24,427千円の減少等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ329,034千円増加し、1,225,445千円となりました。これは主に、公募増資による資本金150,152千円及び資本準備金150,152千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月10日に発表いたしました平成28年5月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	562,329	588,608
受取手形	72,605	71,955
完成工事未収入金	291,827	163,595
売掛金	11,720	11,700
未成工事支出金	45,717	59,917
原材料及び貯蔵品	12,037	12,649
その他	26,271	31,689
貸倒引当金	△4,524	△3,514
流動資産合計	1,017,984	936,601
固定資産		
有形固定資産		
土地	395,240	395,240
その他(純額)	213,420	207,795
有形固定資産合計	608,661	603,035
無形固定資産	66	1,866
投資その他の資産		
投資有価証券	383,352	366,787
その他	128,845	131,397
貸倒引当金	△3,226	△5,214
投資その他の資産合計	508,971	492,970
固定資産合計	1,117,699	1,097,873
資産合計	2,135,683	2,034,474
負債の部		
流動負債		
工事未払金	307,102	115,786
買掛金	41,053	16,625
1年内返済予定の長期借入金	95,615	88,260
未払法人税等	106,402	1,668
完成工事補償引当金	51,654	53,108
その他	128,033	53,199
流動負債合計	729,862	328,648
固定負債		
長期借入金	397,994	375,929
資産除去債務	4,672	5,094
その他	106,742	99,356
固定負債合計	509,409	480,380
負債合計	1,239,271	809,028

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	185,012	335,164
資本剰余金	165,642	343,931
利益剰余金	442,194	439,614
自己株式	△11,904	-
株主資本合計	780,944	1,118,710
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,467	104,335
評価・換算差額等合計	115,467	104,335
新株予約権	-	2,400
純資産合計	896,411	1,225,445
負債純資産合計	2,135,683	2,034,474

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	349,797	310,331
売上原価	247,586	209,963
売上総利益	102,211	100,367
販売費及び一般管理費	79,619	100,824
営業利益又は営業損失(△)	22,592	△456
営業外収益		
不動産賃貸収入	941	1,091
有価証券利息	3,802	4,117
売電収入	8,468	9,209
その他	841	459
営業外収益合計	14,053	14,877
営業外費用		
支払利息	949	890
売電費用	1,201	336
減価償却費	5,376	4,760
貸倒引当金繰入額	3,245	—
株式交付費	—	8,153
その他	—	155
営業外費用合計	10,773	14,295
経常利益	25,872	125
特別利益		
違約金収入	43,200	—
特別利益合計	43,200	—
税引前四半期純利益	69,072	125
法人税、住民税及び事業税	31,104	798
法人税等調整額	△3,880	1,906
法人税等合計	27,223	2,704
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,848	△2,579

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成27年8月12日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式処分を実施しました。この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が150,152千円、資本準備金が150,152千円、その他資本剰余金が28,136千円それぞれ増加、自己株式が11,904千円減少し、当第1四半期累計期間において資本金が335,164千円、資本剰余金が343,931千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	291,856	57,838	349,694	102	349,797
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	291,856	57,838	349,694	102	349,797
セグメント利益又は 損失(△)	44,860	7,902	52,763	△39	52,723

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,763
「その他」の区分の利益	△39
全社費用(注)	△30,131
四半期損益計算書の営業利益	22,592

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	291,711	18,190	309,901	429	310,331
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	291,711	18,190	309,901	429	310,331
セグメント利益	35,465	109	35,575	118	35,693

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	35,575
「その他」の区分の利益	118
全社費用(注)	△36,150
四半期損益計算書の営業損失(△)	△456

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資

当社は、平成27年9月30日開催の取締役会において、太陽光発電設備の増設を決議いたしました。

(1) 設備投資の目的

平成24年7月よりスタートした「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(電力全量買取制度)」により、当社は平成26年6月に山口県下関市において太陽光発電事業を開始いたしました。

この度、同敷地内で太陽光発電設備の増設を行うことを決定いたしました。

(2) 設備投資の内容

所在地 山口県下関市一の宮卸本町

投資金額 約85,000千円

資金計画 自己資金

(3) 設備の導入時期

着工 平成27年11月(予定)

竣工 平成28年1月(予定)

稼働 平成28年2月(予定)